

仕入ご担当者様(ジャンル:評論)



晶文社

6月新刊

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-11
TEL 03-3518-4940 <http://www.shobunsha.co.jp>

さらば、政治よ

旅の仲間へ

渡辺京二 四六判上製 240頁 予価：本体 1500円＋税
ISBN978-4-7949-6926-2 C0095

熊本において、広く世界を見渡す賢人、 渡辺京二の最新評論集

死がほんの近くに見える身としては、
最低言っておかねばならぬことを言っただけだが、
この手の発言もこれでもう打ち止めにしたい。(あとがきより)

最近、世界情勢がどうなっていくのか、日本はどうなるのか、
憂国の議論が日本を覆っている。

しかし 85 歳になって自分の一生を得心するにあたって、
国の行方など、自分の幸福にはなんの関係もないことが
わかってきた。

少年時代から学校も嫌い、裁判システム也大嫌い。

とにかくできるかぎり管理されることから離れて、
まわりの人と人生を楽しみ、食を楽しみ、町を楽しみ、
人生を終えたい。反骨の人、渡辺京二の生きる知恵。



I 時論

さらば、政治よ—旅の仲間へ／「提言」する人々／
物書きは地方に住め／徴兵制は悪か／変わる保革の意味…etc.

II インタビュー

近代のめぐみ／二つに割かれる日本人

III 読書日記

ソ連をひとつの「文明」と捉える—シニャフスキー『ソヴィエト文明の基礎』
近代科学の外で「自然の意味」を問うた思想家—斎藤清明『今西錦司伝』
根本へ向かって考える—宇根豊『農本主義が未来を耕す』
石牟礼道子の文学的本質を開示—白井隆一郎『「苦海浄土」論』
文明に「孤島」を作る異能者、そして聖者—坂口恭平『独立国家のつくりかた』
奥行きのある言葉が人間の姿を造型する—伊藤比呂美『父の生きる』…etc.

IV 講義

ポランニーをどう読むか—共同主義の人類史的根拠

【著者について】渡辺京二 (わたなべ・きょうじ)

1930年京都生まれ。大連一中、旧制第五高等学校文科を経て、法政大学社会学部卒業。評論家。河合文化教育研究所主任研究員。熊本市在住。著書に『北一輝』(ちくま学芸文庫、毎日出版文化賞受賞)、『逝きし世の面影』(平凡社ライブラリー、和辻哲郎文化賞受賞)、『万象の訪れ』(弦書房)、『黒船前夜』(洋泉社、大佛次郎賞受賞)、『無名の人』(文春新書)、『近代の呪い』(平凡社新書)、『女子学生、渡辺京二に会いに行く』(津田塾大学三砂ちづるのゼミと共著、文春文庫)、『気になる人』(晶文社)など多数がある。

晶文社営業部 **FAX03-3518-4944** 配本申込み〆切 5月30日

新刊委託申込書	取次・貴店印	さらば、政治よ	申込部数	
	ご担当 様		冊	
			拡材希望	
			パネル	POP
【評論】四六判・240ページ 予価：本体1400円＋税 ISBN978-4-7949-6926-2 C0095 6月10日配本予定 晶文社営業部 TEL03-3518-4940		渡辺京二 著		